

平成28年度第5回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 平成28年（2016年）8月8日（月） 午後2時00分～同5時00分

(2) 開催場所 宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室 4

(3) 出席者

- ・ 景観審議会デザイン協議部会委員
徳尾野部会長、岩井委員、中嶋委員、三谷委員、林委員、大平委員、
盛田委員
- ・ 事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）
山下室長、下野課長、谷口係長、志村係長、濱崎職員
- ・ 事業者
議事① 事業者 阪急電鉄株式会社
設計者 株式会社日建設計
議事② 事業者 宝塚市（宝塚市教育委員会管理部施設課）
設計者 共同設計株式会社

(4) 議 事

- 議事① 宝塚立体駐車場新築工事
- 議事② 長尾中学校屋内運動場改築事業

(5) 傍聴者

- 議事① 1名
- 議事② なし

2. 会議の要旨

事務局： 本日の審議会（部会）は、委員7名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長： 了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、三谷委員と林委員です。

会 長： 景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいますか。

事務局： 1名いらっしゃいます。

会 長： 入室していただいでください。

☆☆☆☆ 宝塚立体駐車場新築工事 ☆☆☆☆

会 長： 今回の事業計画で景観上特に配慮された部分について説明してください。

事業者： 事業計画について説明します。

- ・ 計画地は宝塚大劇場の北側です。花のみちに沿って建物を配置するため、出来るだけ低層の建物とし、沿道への圧迫感を軽減しました。
- ・ 敷地東側の緑地部分は保全し、散策路を設け憩いの空間として再整備します。建物計画に支障のない樹木の保存活用を図り、新設する樹木については、花のみちと一体的に四季感を演出するよう樹種を選定しました。
- ・ エントランス前にはサクラを主に配置し、花のみちと調和を図り、賑わいが創出できるよう計画しています。
- ・ 建物計画は、花のみち側から駐車車両が見えないよう外壁を設け、色彩は大劇場のエントランスゲートと同色とし、街並みを統一するよう配慮しました。
- ・ 建物のボリュームはできるだけ抑え、屋根を設けず、屋上階の立ち上り壁にスパニッシュ風の瓦を使用し、周辺建物との統一感を確保しました。

会 長： 委員よりご意見やご質問があればお願いします。

委 員： 電車の車窓から屋上部分が見えます。緑化すると車窓からの景観はずいぶん良くなると思いますが、屋上を緑化するのは難しいですか。

設計者： 花のみち側からの建物のボリュームを抑えることを第一に設計しました。屋上に木を植えるため土を確保しようとするると、建物高さが高くなりますので、今回建物はできるだけシンプルな計画とし、高さを抑えることを優先しました。緑化については、敷地の東側や建物と花のみちとの間にできるだけ緑地をとるよう計画しています。

委 員： 例えば、建物高さは変えず、屋上の周囲に50cm程度の花壇を設けてアベリアなどを植えれば、電車の車窓からの景観はとても良くなると思います。もし駐車スペースを調整し花壇を設置することが可能であれば、是非検討して頂きたいと思います。

委員： 周辺の建物と調和するよう外壁を設置されたことはとても良いと思います。「調和」には二つのポイントがあると思います。一つは高さについてです。計画建物の高さは2階に抑え、景観への配慮が感じられます。もう一つは長さについてです。今回の建物は、外壁面が約100mという長さになっています。すぐ前にある大きな建物の大劇場は、壁面は大きいですが、かなりのスケールでブレイクダウンされていて、細かい面で外壁が構成されているのが解ると思います。100mという長大な壁面を、いかにブレイクダウンさせるかがこの建物のデザインのポイントになると思いますので、もう少し検討してください。

方法は色々あると思いますが、例えば、建物の両サイドにある筒状のスロープ部分は、現在の計画では本体部分と同じ高さで揃えています。円筒部分と本体部分とを上手に繋ぐことでブレイクダウンができます。また、円筒部の屋根の高さを1m変えるだけでもブレイクダウンできます。100mの壁面の中で、いくつかのブレイクダウンの方法を組み合わせれば、優しい建物になると思いますので検討して頂きたいと思います。

委員： 商業棟と計画建物の駐車場の出入口は、同じ出入口を利用するという事ですか。商業棟の駐車台数は何台ですか。

事業者： 300台です。

委員： 計画建物が建つと、今より更に300台駐車台数が増加し、600台の車が出入りすることになりますが、出入口はこの計画で十分対応できるのか心配です。国道側の出入口は、歌劇場前交差点からそれほど距離がありませんので、現在でもとても混雑しています。今より利用台数が多くなると更に混雑すると思います。この件については警察などとも協議をされているとは思いますが、少し不安を感じる部分です。

また、駐車場の出口について、今回増加する台数分の車両が花のみちを通行すると、花のみちが将来どのような状況になるのかということについて考慮して頂き、歌劇を運営されている事業者としても、駐車場から出る車をどのように整理、誘導していくか、よく検討して頂きたいと思います。

委員： 壁面が長いことは意識されていると思います。上部には瓦屋根を回して配慮されていますが、建物の壁面が2層分ALC版のみで構成されており、歩行者から見るとかなりオーバースケールになっていますので、ブレイクダウ

ンの方法を色々考えて頂きたいと思います。もう少し表情のあるようなディテールや、1階の部分にも底をつける部分を設けるなど、壁面に変化のあるデザインを検討して頂くと良いと思います。

また、南立面の東側の部分に、一部だけ外壁がなく柵が設置されている部分があります。この建物のコンセプトとしては、大劇場に合わせたものとされ組石造風の外観とされていますが、この部分だけ仕様が極端に異なり、鉄骨が目立っていますので、もう少しデザイン上の整合をとられた方が良いと思います。例えば、垂れ壁状のものを回し、鉄骨部分がむき出しにならないよう配慮されるなど、検討して頂きたいと思います。車両の出入口部分についても同様に鉄骨がむき出しになっている部分があります。この部分についても配慮が必要だと思います。デザイン的なストーリーや整合性を重視したディテールを検討して頂きたいと思います。

委員： 屋上部分は、電車の車窓からの見え方についてはシュミレーションされているとは思いますが、宝塚南口駅方面から宝塚駅へ向かうカーブの部分を通過するとき、屋上が目につくと思います。もう少し車窓からの見え方に配慮したデザイン、床の仕上げを検討し、できればメンテナンスの良い植物を多少でも植えて頂く等、景観的な配慮をお願いします。

委員： 既存建物と計画建物とが近接している部分があります。駐車場部分の1階はピロティーになっていますが、2階以上の部分はかなり近接しています。1m程度しか隙間がないようにみえますが、この部分の建物間の距離はどのくらいありますか。パースではこの部分は描かれていませんのでわかりませんが、この部分の見え方について検討された資料やスケッチなどはありませんか。

設計者： 建物は1.5m程度離れています。足場と仮囲いが設置できる幅を確保しています。

委員： 外壁と外壁間の距離が1.5mですか。屋根もありますが大丈夫ですか。検討されているのであれば、スケッチを見せてください。

設計者： 本日は資料がありません。既存建物についても撤去改修工事がありますので、検討はしております。

委員： 1階のピロティー部分は、歩行者や劇場の利用者などが庭園側へ抜けるた

めに頻繁に利用する通路なのですか。

事業者： ホテルの工事期間中は、国道側の平面駐車場を大型バスの駐車場として使
用しますので、大型バスをご利用されるお客様が通行されます。

委 員： 大型バスの利用客が通行するのであれば、多数の人が通行しますね。

事業者： 団体客の通行を想定していますので、1階部分はピロティーとし、通路の
幅員を確保しています。

会 長： 多数の方が通行されることを想定しているのであれば、先ほども意見が出
ましたが、ピロティー部分のデザインはもう少し景観に配慮したデザインと
してください。見上げ部分の仕上げや、鉄骨柱がむき出しとならない工夫、
建物全体との整合性を考慮したデザインとし、既存建物が接近している部分
の見え方も考慮してください。歩行者の視点からの景観としては、重要な部
分になると思いますので配慮をお願いします。

委 員： 花のみちからは直接見えないかもしれませんが、多数の施設利用者が通行
する場所です。鉄骨むき出しのこの部分は、この建物の弱点になっていると
思います。良く検討してください。

委 員： 南立面の東側に、外壁ではなく柵状になっている箇所がありますが、平面
図のどの部分になりますか。

設計者： ピロティーの奥の部分が外壁ではなく、柵になっています。

委 員： この部分を柵にされている理由は何ですか。

設計者： 事業主様のご意向により、壁ではない仕様として欲しいというご要望があ
り、柵を設置しています。

委 員： 平面図では躯体のように表現され、扉も設置されていますが柵ですか。

設計者： コンクリートの立ち上りの上に柵を設置する計画です。また、柵の部分に
扉を設け、出入りできる仕様となっています。図面では解りにくいのですが、
スロープの手前までが壁ではなく柵となっています。

委員： 既存建物と近接している部分は、パースなどを描いて、柱と建屋の関係をよく検証し、再検討してください。

委員： 既存建物は将来的にも利用されるのですか。

事業主： その予定です。

委員： ホテルが移転した後も、取り壊すことなく利用されるということですか。

事業主： 既存建物の西側の一部は今回解体しますが、その他は、現在もチャイルドルーム等の用途として利用していますので、継続して利用する予定です。

委員： 資料の立面図に外壁の色彩についてマンセル値が記載されていますが、この数値ですと基準値から外れています。また、本日追加資料として提出された色彩は、見かけの色を記載しているということですか。

設計者： 瓦は大劇場のエントランスゲートの瓦を参考にしていますが、どの部分を取るかによってずいぶん数値に差があります。記載の数値は、あえて一番明るく見えた部分の数値を表現したものです。記載の数値が基準を超えていることは理解しております。これについては、基準を超えた材料を使用したいということが主旨ではなく、既存の建物瓦と同様のものを今回も使用したいという考えです。瓦の形状による陰影などを考慮し、基準を満足するよう計画しています。

委員： 景観を考える時に、見かけの色彩というものはとても重要ですが、このような会議の場で資料として提出する場合には、見かけの色彩ではなく、実際に使用される材料の色彩を記載していただく必要があります。瓦は焼物ですので色彩に揺れがありますが、使用材料そのものの色を記載していただければ、この材料をこの高さで、この面積使用した場合はどのように見えるのかということは、こちらが勘案いたします。

外壁の色彩についても同様です。記載のマンセル値は基準を超えていますので、この色は使用できません。塗料を発注する際には、この色でと依頼しないといけませんので、実際に使用される色を示してください。

計画建物の外壁に、この面積に使用した場合に、南面だとどのように見えるのかということはこちらが勘案いたします。使用色のマンセル値を示して

ください。現在提出されている資料では、判断が出来かねますし、また、デザイン協議部会として、この資料で判断したという訳にはいきません。まずは物体色のマンセル値を示してください。

更に、大劇場の色彩に合わせた色彩を計画されるとのことですが、外壁の材料や仕様も異なりますし、また外壁面の方位も異なりますので、同じマンセル値を採用しても見え方は異なります。今回の建物が、景観として大劇場よりもより目立つものがよいのか、少し控えたものがよいのか、同色が良いのかということを検討したうえで、マンセル値を示して頂きたいと思います。

計画されている色彩ですと、駐車場棟は南面に大面積の外壁がありますので、大劇場よりも目立つ建物になることが予想できます。大劇場よりも目につく建物をご計画されているということですか。

設計者： 大劇場よりも目立つ建物を計画しているつもりはありません。誤解を生む表現となっております申し訳ありません。

委員： 設計者として、駐車場棟の位置づけをどのように考えていますか。駐車場棟の位置づけを色で表現した場合どのようになりますか。このことを再度検討して頂き、数値で表現して頂きたいと思います。

先ほどから同じ意見が出ておりますが、100mの外壁というのは相当大きな壁面です。この大きな壁面のデザインが、同じディティールの繰り返しのみで本当に良いのか、もう一度考えて頂きたいと思います。

花のみち側に既存建物があるので、計画建物の壁面がある程度隠れますが、他の建物に隠れることで助けられるのはクリエイターとしては良くないと思います。また、大劇場は凹凸のある色々な表情をもった建物です。もう少しデザインについて検討して頂きたいと思います。とても長い壁面ですので、花のみちを歩く歩行者の目線から見た時に、もっと優しい建物となるよう是非検討してください。

委員： 瓦などは焼きむらがあると思いますので、数値に揺れ幅があると思います。マンセル値は、〇〇から〇〇という表現でも構いません。

設計者： 瓦については、素地にするのか、釉薬にするのか、釉薬にしても種類によって色味が変わってきますので、材料サンプルを作る予定です。外壁についても、大劇場の色を計測していますので、本日頂いた意見を参考に色彩を計画したいと考えています。あくまでも大劇場がメインで駐車場棟は付属建物

ですので、大劇場に自然に寄り添う形としたいと考えております。

委員： 景観的な視点では、現在の大劇場の外観は、やや明るい建物だという印象がありますので、この意見も参考に、駐車場棟のデザインを検討して頂ければありがたいと思います。

委員： 植栽計画について、人の動線を主として今回の計画を見ると、既存建物と計画建物が近接していることもありますが、せっかく整備される東側の庭園部分に人が流れていくようなデザインにはなっていないように感じます。例えば、花のみちを歩く歩行者の視線を、列状に配置したサクラで誘導した先に既存建物があり、建物が近接した暗がりの中を抜けて、その奥にある庭園へ人の流れが生まれるとは思えません。計画建物の配置を変更することは難しいのですか。既存建物との建物間隔をもう少し離すことができれば、庭園へ向かう人の流れを作ることができると思います。

委員： 既存建物はガタガタした形状となっていますので、それに合わせて計画建物もガタガタさせることができれば、東側の庭園への視界が開け、庭園への人の流れができると思いますし、歩行者にとっても優しいデザインになると思います。外構計画については、既存建物と計画建物との調和を図り、歩行者レベルでの景観に配慮して頂くと、もっとよい計画になると思います。

東側の庭園は、せっかくの広大な庭園が花のみちに背を向けた形で計画されているように見受けられ、とてももったいなく感じます。歌劇を觀賞される方には、スムーズに劇場に向かう通路さえ確保されていれば良いのかもしれませんが、歌劇以外の魅力としても貢献できるよう整備することを検討してください。

憩いの場とするためには、花のみちとのつながりも非常に重要になると思います。庭園部分にサークル状の滞留スペースを多く配置されていますが、せっかくサクラのサークルがあるのに、花のみちからは直接アクセスできないのは勿体ないと思います。歩道と庭園部分は少し高低差があるようですが、既存樹のヤマボウシや道路側のフェンスは一部撤去し、階段やスロープを設置し、花のみちに開かれたデザインとした方が庭園としては良くなると思います。

庭園内に車路がありますので、車の往来と散策されている方が交差する部分もあるように思います。車路の位置は変更できないのですか。

事業者： 立駐が満車の場合に、平面駐車場に戻るための動線として庭園部分の車路

を設けています。通常時、駐車場が込み合っていない時は通行止めにする予定です。

委員： 基本的には、人が滞留していてもよい空間として庭園を整備されているということですね。

設計者： 立駐へ駐車された方が商業棟へ向かう時の通路としても利用する予定です。

委員： せっきくの空間ですので、花のみちとの一体的な利用を検討された方がよいと思います。建物前のオープンスペースと一体的に整備し、回遊できるようなことも検討して頂きたいと思います。

どこに人を滞留させたいか、どこを見せたいのかによって、サークル状の樹木の配置を再検討してください。既存建物と計画建物の間や、花のみちからこのサークル状の憩い場が見える位置に配置すれば、自然と人の流れができると思います。

サークル状の樹木の樹種も性格を分けて計画されているようですが、例えばそれぞれ四季を感じられスペースとして整備する、香りを感じられる空間とし整備する等、コンセプトを明確にして整備された方がよいと思います。

庭園の管理はどのようになりますか。

事業者： 現状も商業施設を含めた全体の庭園管理を行っています。今後は、この部分も含めて管理することになります。

委員： 日常的に管理されるということですか。

事業者： 基本的には四半期に一度手を入れることになります。

委員： 花のみちの管理とは異なるのですか。

事業者： 花のみちは、シルバーさんや地域住民に管理して頂いています。この部分に関しては、日常的に手を入れるような管理は想定していません。

委員： このスペースに関しては、地域の住民の方の手を借り、管理することは予定されていないのですか。

事業者： 予定はありません。

サークル状の樹木の配置については、この庭園に本当にサークルがふさわしいのかも含めて、レイアウトを再度検討します。

この部分は、ホテルの工事期間中、北側の平面駐車場が大型バスの駐車場となるため、団体のお客様が大劇場へ向かうためのメイン動線となります。庭園にあまりにも人が多すぎますと、大劇場へのアプローチがしにくいという問題もありますので、人が自然に流れていくような庭園計画としたいと思っています。

委員： 団体客が多く通行するのは、工事期間中だけではないのですか。庭園は一度設計しますと、その後何十年も同じ形で利用されることになると思います。工事期間中の一時的な人の流れを確保することを優先せずに、恒久的に利用されることを念頭に設計して頂きたいと思っています。

委員： 歌劇を観劇にこられるお客様は、車に乗りあって何人かで一緒に来られる方もいると思います。観劇のあと、運転手のみが車をとりて駐車場へ行き、他のお連れの方はエントランスで待っているという状況もあると思います。エントランスをちょっとした待合に利用されるお客様もいると思いますが、ご計画のエントランスでは、楽しく待てる雰囲気がないように感じます。

事業者： そのような利用形態は想定しておりません。歌劇終了時刻に駐車場出口及び周辺道路が混みあうことはご存知の方が多いので、出来るだけスムーズに駐車場へ向かい、帰路につかれる方が多いです。その点についてはご心配の必要はないかと思っています。逆にエントランス付近に人が溜まりますと、出庫しにくい状況になりますので、その場合には、エントランス付近に人が溜まることのないよう誘導することになると思います。

委員： 警備員は常駐されるのですか。

事業者： 込み合う時には、警備員ではなく誘導員で対応することになると思います。歩行者と車両の動線の交差については、とても気にしている部分ですので、事故がないよう対応していく予定です。

委員： 渡り廊下を設置する計画はないのですか。

事業者： 今のところありません。

委員： 現状は、既存建物付近から庭園部分を見ても、見通しが悪く、陰気な雰囲気気で近寄りがたいように感じます。せつかく整備されるのであれば、一般の方も利用されますので、もっと親しみが感じられ、楽しい雰囲気のあるものにして頂きたいと思います。庭園前はファンの方が出待ちするスペースにもなっていますので、待っている時間も楽しく過ごせるよう工夫して頂きたいと思います。

事業者： 歩道と庭園部分は高低差がありますし、歩道が狭いのも気になります。また、通路を設ける場合には、安全対策も含めて道路管理者との調整も必要になると思いますので、これらも含めて今後の使い方を検討したいと思います。

委員： もともと北側にあった住宅展示場の施設として整備されていた庭園を、今度は反対の花のみちから利用できるよう既存樹や現況の地形を生かしながら計画し直すのは、デザインをされる方は難しいところですね。

委員： 花のみちに沿って植えられている既存樹は、クスノキ、シラカシなど、通常は背面に植える樹種ですので、花のみち側をメインにするのであれば、これらの既存樹やフェンスを撤去して風通しを良くする必要があると思います。

委員： 西立面、東立面は途中で瓦がなくなりますが、車窓から見えると思いますので、奥まで回すことはできませんか。

設計者： 入隅で材料を切り替えたいと考えています。奥まで回すと、切り替え部が出隅になり納まりが難しく、斜めから見た時に返って不自然に見えると思いますので、切り替え部分は計画のままにしたいと思います。また、立ち上がり部分については、外壁と同じ吹付塗装で仕上げますので、それほど違和感はないと考えております。

会長： 色彩の問題や、既存建物との取り合い部分の問題、長大な壁面のブレイクダウンの手法など、重要な問題点がありますので、検討後にもう一度デザイン協議部会での協議をお願いします。議事1については、これで協議を終了とします。

☆☆☆☆ 長尾中学校屋内運動場改築事業 ☆☆☆☆

会 長： 今回の事業計画で景観上特に配慮された部分について説明してください。

設計者： 事業計画について説明します。

- ・ 敷地南側の道路沿いに、東から緑地帯が続いていますので、これを継承し緑化に努めています。また、植栽帯を設け、その後ろにタイル貼りの塀を配置することにより重厚感を演出しています。
- ・ 敷地西側の出入り口付近にシンボルツリーとしてケヤキを植える計画としています。
- ・ 武道場の外壁は、近隣の共同住宅に調和するようタイル貼りとしています。
- ・ 計画地南側にある既存敷地に緑地帯があり、それを延長する計画をしています。

会 長： では、委員よりご意見やご質問があればお願いします。

委 員： 今回の計画は、敷地南側の道路から見た時に、どれだけ楽しく建物が現れるよう計画することがとても大切です。

敷地の形状が歪なので、建物の背後になる北側の緑が豊かで、建物の正面になる南側は、敷地境界から2メートル程度下がったところに建物があり、緑が少ないように思います。ピロティは有りますが、駐車場が多く、南側はすっきりしないデザインとなっています。

建物のグレードは、建物へ接近していく時のアクセスが魅力的に演出できているかがポイントになると思います。また、これらと合わせて市道の道路景観を創っていくことに繋がると思います。

建物の配置を工夫して、南側の道路側に豊かな空間をデザインすることを再検討していただくことを推奨します。現在計画されている北側の空間構成が南側配置されているととても楽しいと思います。

委 員： 建物は、無駄なスペースはできるだけ省き、代表的な空間をうまく組み合わせて構成されていることが、見た目で見えるようなデザインにすることが大切です。

この建物の主となる空間は、アリーナです。今回の計画は、この主となるアリーナと更衣室などがある従の部分切り離しており、アリーナが主として浮かび上がる計画となっており、良いと思います。

また、削ることが可能な空間はできるだけ削り、すっきりした方が良いと

思います。例えば、アリーナに付属するステージ上部のぶどう棚は、中学校のステージに本当にこの大きさが必要ですか。ステージの両サイドが吹き抜けとなっていますので、上部のぶどう棚は機能上必要のないのであれば、ボリュームを抑え、主となるアリーナの空間を強調するようなデザインとした方が良くなると思います。

アリーナという大きな空間を主として他の部分を構成すると良い建物になると思います。

アリーナの次に代表的な空間は武道場です。武道場は真四角ですので、真四角な武道場と長方形のアリーナの空間構成、どのようにうまく噛み合わせるかが重要になります。残りの機能は、従属部分ですので、自由に計画することができると思います。

アリーナと武道場の空間だけは、はっきりと分かるよう、例えば、アリーナを丸い屋根にし、武道館は四角錐にして、それぞれ高さも変えると空間のメリハリが出てとても良くなると思います。

南側立面を例にとると、武道館は3スパンであり、その他は階段室などです。武道館に階段室などのその他の機能が寄り添っている様が外観で理解できるようにすると良くなると思います。

南側の道路に対し、武道館とアリーナがうまく噛み合ったデザインにされると良くなると思いますので、是非検討してください。

委員：色彩は、既製品で色が自由に選べないものもあると思いますが、まず建物全体をどのように造っていくかを考え、色彩計画をしていただきたいと思います。屋根は屋根の色、壁は壁の色としてそれぞれ選び全体の印象がどう見えるかを考慮していないという印象を受ける色彩計画です。例えば、建物の下部をしっかり濃い色で締め、上部は屋根の色で締め、その他の部分は明るくするなど全体の色彩計画でどの様に表現するかを考える必要があると思いますが、その部分が感じられない計画です。

全体を見た時、まとまりのない空間となるような色彩計画となっています。建物全体をどの様に表現していくかを考え、色彩計画をしていただくと、建物全体にまとまりが出てくると思いますので再検討して下さい。

現在の計画では、N7、N7.5、N8.5の色を大壁面に使用する計画となっています。巨大壁面にこの様な色分けをされても、光が当たるとあまり色の差がなく、全て白に見えてしまい意図しているデザインに見えないと思いますので、これについても配慮し、検討してください。

委員：道路の上空に設置する横断歩道橋と、南側の既存敷地内に設置する渡り廊

下についてですが、横断歩道橋には屋根が掛けられないため、少し雨がかりにくい形状として壁面をRにされたということはわかりますが、横断歩道橋がRで、渡り廊下が四角い形状となっており、接合部の収まりが悪いと思います。このことは承知の上での計画だと思いますが、かなり無理な収まりがあらこちらに見受けられます。例えば、体育館と横断歩道橋の接続部は、横断歩道橋が建物からはみ出しています。横断歩道橋と渡り廊下の接続部についても、どのように収まるのか想像が付きません。各接合部の納まりについて検討が必要であると思います。

また、横断歩道橋や渡り廊下の桁裏が全てむき出しになっています。この部分については、道路を通る歩行者から見える部分になりますので、桁裏の見え方について検討してください。

委員： 地下道の検討はされたのですか。

設計者： 検討しましたが、浸水区域のため断念しました。

委員： 事情があることは承知していますが、R状のものと四角い形状のものを接続することは、無理があると思います。人目に付く位置に歪な接合部が出るので気になります。

委員： 避難所として屋内運動場を利用される場合にも、渡り廊下や横断歩道橋を利用されるのですか。

設計者： 屋内運動場のみを利用する場合は、道路から直接入ることができます。南側の既存敷地内にある校舎棟から屋内運動場へ移動する場合には、渡り廊下と横断歩道橋を通ることになります。

委員： 緑化計画について、南側の道路沿いの植栽帯が狭くなっています。植栽帯を広げ、渡り廊下の接続部の下部には少し高さのあるサクラなどを配置し、上部に設置される歩道橋が視覚的に緩和されるよう工夫された方が良いと思います。

全体的に高木が少なく、ヤマボウシやサルスベリなどの中木が多い計画となっています。また、計画されている樹種は、全て落葉樹ですので延焼防止、プールの目隠し等の観点からも常緑樹も植えてください。

駐車場の入口部分にシンボルツリーを計画されていますが、木の下に人が滞留することも考慮し、シンボルツリーは歩行者の入口付近に植えた方が良

と思います。道路側の緑地が少ないので、駐輪場の位置も含め再度検討してください。

樹種については、ヤマボウシやサルスベリを計画されている部分は、常緑樹のアラカシやソヨゴの株立ちを植えた方が管理しやすいので推奨します。

南西に井戸がありますが、災害のときには作業スペースが広い方が良いと思いますので、5メートル程度の間隔でソメイヨシノを植え、足元は芝にした方が良いと思います。

北西角は、古墳が移設されるのですか。

事業者： 石を組み合わせた様な古墳が移設される予定があります。

委員： 文化財の担当部局は、植栽の根が古墳の邪魔をすることも気にすると思います。北西角の三角形の植栽スペースに、古墳時代から生息しているアラカシを背景になるように植え、古墳移設スペースの周囲は樹木を植えない方が良いと思います。古墳の南側の敷地境界線沿いでハナミズキを計画している部分には、アラカシやソヨゴを3メートル程度の間隔で植えられると良いと思います。

避難所にはヤマモモなどの食べられる実のなる樹木を植えることも推奨しますので、プール機械室の北側や更衣室の周囲には、目隠しも兼ねて常緑のアラカシ、ヤマモモを推奨します。プールサイドの北側のプールから見える位置には、夏に花を付けるサルスベリを配置すると良いと思います。

南側の道路沿いは、高木のサクラやケヤキなどを配置し、視覚的に建物のボリュームが緩和できるように計画して頂きたいと思います。

委員： 建物の色彩について再検討していただくようお伝えしましたが、計画されているグレー系の色彩は白すぎます。巨大壁面に日光が当たると、眩しく真っ白に見えると思いますので、全体的にもう少し明度を落してください。外壁のタイルの色彩も同様に明るすぎますので再検討してください。宝塚の景観として推奨する色彩と比較すると全体的に白い建物になっています。

委員： 周囲の共同住宅の外観に配慮され、タイル貼りとされていることは良いと思いますが、体育館ですので、中学校の体育館としての魅力や、アリーナや武道場のボリューム感が少し外側にもにじみ出るようなデザインを考えていただくともっと良くなると思います。グレー系に色は落ち着いていますが、冷たい色でもあります。タイル面と吹付部分との調和について工夫していただけると良いと思います。

また、プールの周囲の壁面も白っぽい色彩計画となっていますが、なぜですか。

設計者： 敷地北側に高架があるため、北側道路からの景観が暗い印象になると思い、なるべく明るい色にしたいと考え白系の色を計画しています。

委員： 白系の色は、プールの利用者にとっては、夏場は照り返しがありますので肌にも目にもつらい環境になります。使い勝手も考慮し、もう少し色味のあるものにされた方が良いと思います。

会長： 色々な意見が出ましたが、中学校の施設ですので式典等も行われることも考慮し、建物をもう少し南側へ寄せエントランス回りを豊かな計画にしてください。

アリーナ、武道場という特徴的な空間構成になっていますので、それが外観に感じられる様なデザインにする方が素直で良い建物のなると思います。

色彩計画については、空間構成に対応したものを検討してください。植栽については、落葉樹で季節感を演出していただいていると思いますが、常緑樹も混植し、秋から冬にかけても一定の緑が残るよう計画してください。

横断歩道橋及び渡り廊下については、景観とは別の観点での制約もあると思いますがR形状のものと、四角い形状のものとの接合部分や、歩行者から見える桁裏についての景観上の配慮をお願いします。

議事2については、これで協議を終了とします。